

関門航路[南東水道地区]潜水探査及び浚渫工事のお知らせ

今般、下記により関門航路[南東水道地区]の潜水探査及び浚渫工事を実施しますので、付近海域の航行船舶は、十分な注意と作業へのご協力をお願い致します。

1. 工事作業期間について(気象等の影響により幾弱変わる事があります。)

地区名	種別	作業船種	隻数	区分	予定期間	作業時間	警戒船
南東水道地区	潜水探査	潜水士船	16隻(最大)	5・13工区	R1.10上旬~R1.12下旬	日の出~日没	4隻
	浚渫船	ドラグサクシオン式浚渫船	1隻	5・13工区	R2.1上旬~R2.3下旬	昼・夜	-

※予定期間の詳細又は変更については、関門航路事務所ホームページにてお知らせします。

(<http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/kanmon/>)

2. 工事作業の場所.....南東水道地区(図-1参照)

3. 工事作業の概要及び安全対策

3-1 潜水探査

- 潜水士船は最大16隻を航路に平行になるように配置します。(図-2参照)
- 潜水士船1隻に1名の潜水士を投入します。
- 潜水士船には、国際信号旗「A旗」を示す信号板を揚げ、潜水探査中であることを明示します。(図-3参照)
- 潜水探査作業中は、警戒の標識(緑、黄、緑の吹き流し)を揚げた警戒船4隻(内1隻は国際VHF無線を装備したもの)を配置します。(図-2、4参照)
- 潜水作業中は、作業区域の四隅及び長さ方向が300mを超える場合は中間に俵ブイを配置します。(図-2、5参照)
- 航路中心線から北側で潜水探査を行っているとき、1万GT以上の西航船がある場合は、航路外に退避します。なお、退避の際は俵ブイも撤去します。
- 現地の天候により危険と判断した場合は作業を中止します。
(視界2,000m未満、波高0.7m以上、風速10.0m/sec以上)

3-2 浚渫工事

- 国有ドラグサクシオン式浚渫船「海翔丸」にて、航路に平行に浚渫工事を実施します。(図-6、7参照)
- 浚渫船には、海上衝突予防法の規定による灯火及び形象物を揚げ、浚渫工事中であることを明示します。(図-8参照)

4. 情報の提供

作業情報は、下記で取り扱っています。

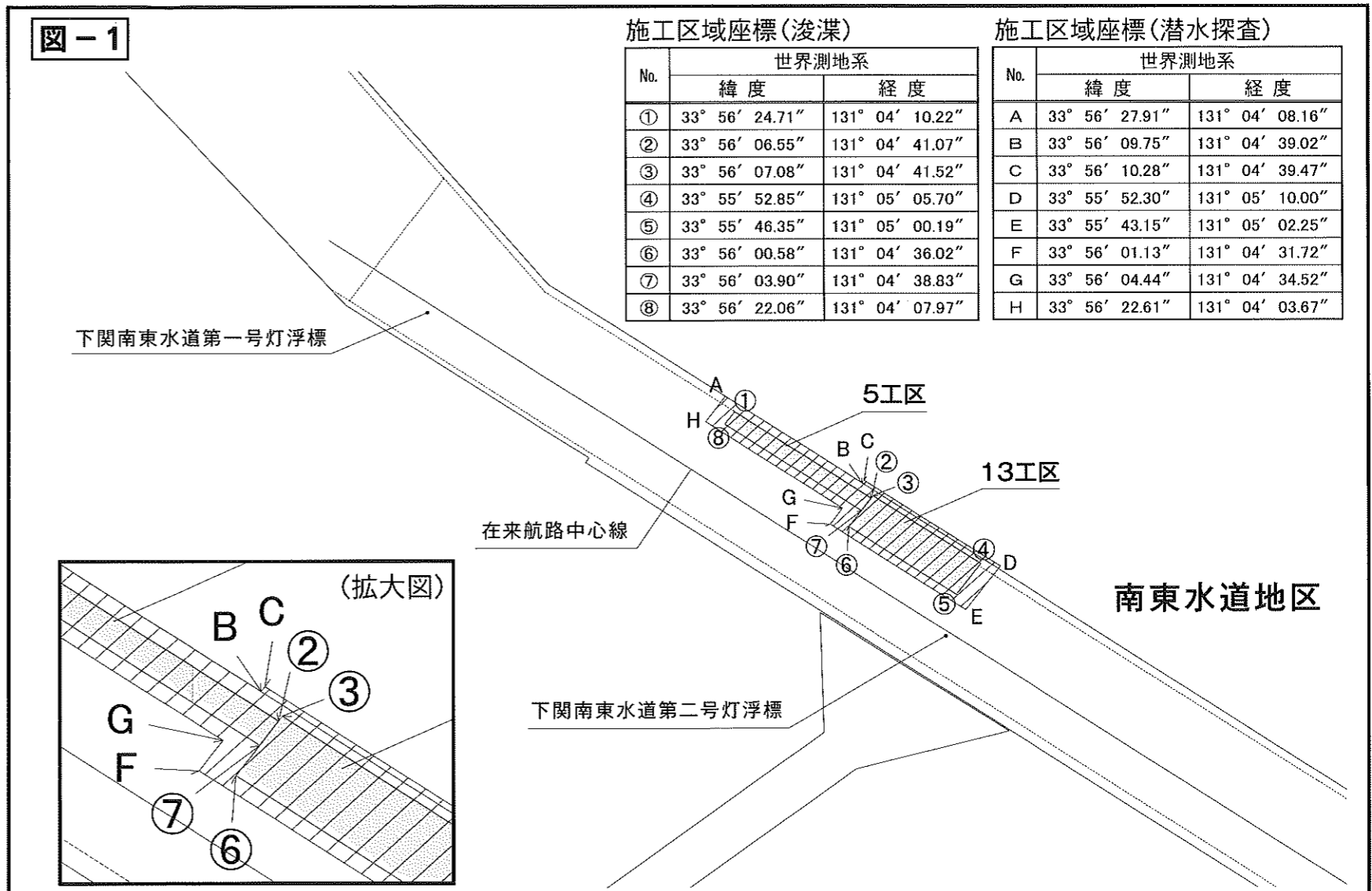
〈九州地方整備局 関門航路事務所〉

潜水探査関係：建設管理班

TEL 093-512-8098 FAX 093-512-8106

浚渫工事関係：海洋環境・防災課

TEL 093-512-8099 FAX 093-512-8106



施工区域座標(浚渫)

No.	世界測地系	
	緯度	経度
①	33° 56' 24.71"	131° 04' 10.22"
②	33° 56' 06.55"	131° 04' 41.07"
③	33° 56' 07.08"	131° 04' 41.52"
④	33° 55' 52.85"	131° 05' 05.70"
⑤	33° 55' 46.35"	131° 05' 00.19"
⑥	33° 56' 00.58"	131° 04' 36.02"
⑦	33° 56' 03.90"	131° 04' 38.83"
⑧	33° 56' 22.06"	131° 04' 07.97"

施工区域座標(潜水探査)

No.	世界測地系	
	緯度	経度
A	33° 56' 27.91"	131° 04' 08.16"
B	33° 56' 09.75"	131° 04' 39.02"
C	33° 56' 10.28"	131° 04' 39.47"
D	33° 55' 52.30"	131° 05' 10.00"
E	33° 55' 43.15"	131° 05' 02.25"
F	33° 56' 01.13"	131° 04' 31.72"
G	33° 56' 04.44"	131° 04' 34.52"
H	33° 56' 22.61"	131° 04' 03.67"

図-2 潜水探査作業船配置図

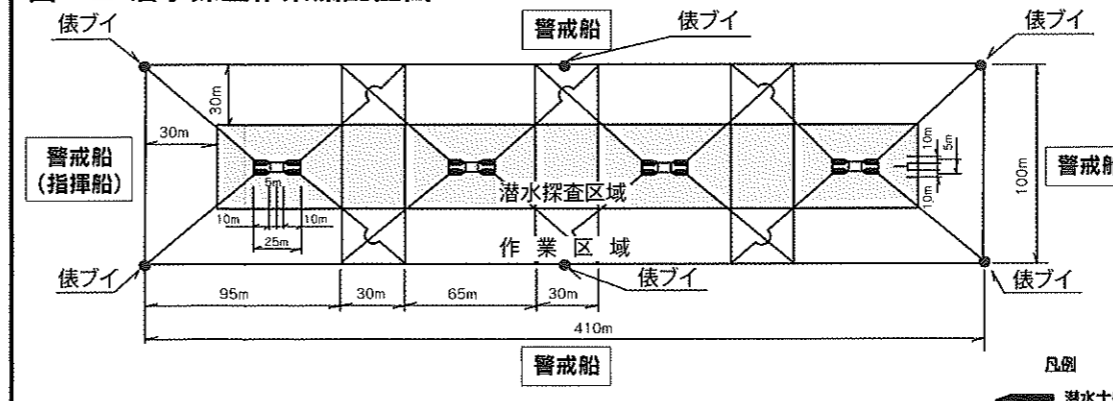


図-6 浚渫船「海翔丸」の作業状況平面図

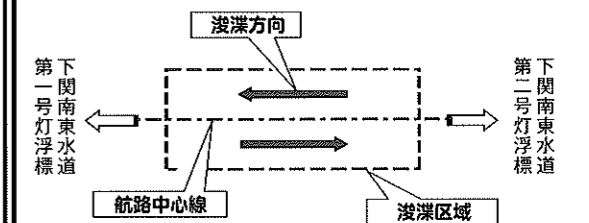


図-7 浚渫船「海翔丸」の作業状況側面図

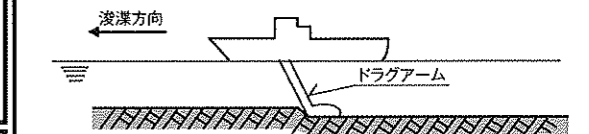


図-3 潜水士船の標識

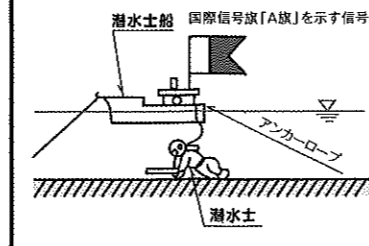


図-4 警戒船の標識

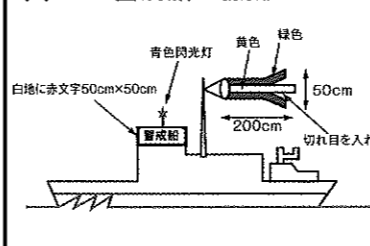


図-5 俵ブイ詳細図

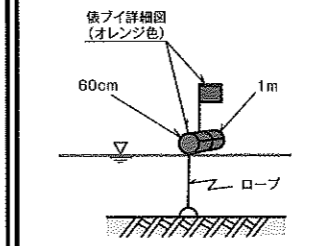


図-8 浚渫船「海翔丸」の灯火及び形象物

